

# 県立高等学校の中期再編整備計画(第2期)

平成18年10月  
埼玉県教育委員会

## 統合を伴う再編整備

- |   |  |     |
|---|--|-----|
| 1 | 蓮田高校と菖蒲高校の統合                                   | ……1 |
| 2 | 栗橋高校と北川辺高校の統合                                  | ……2 |
| 3 | 吹上高校、鴻巣高校(定時制)、熊谷女子高校(定時制)<br>及び深谷商業高校(定時制)の統合 | ……3 |
|   | (参考資料)   |     |
|   | 県内中学校卒業者数の動向と適正な学校規模                           | ……4 |

## 統合を伴う再編整備

### 1 蓮田高校と菖蒲高校の統合

対象校	再編整備の方針等
蓮田高校 菖蒲高校  (仮称:蓮田新校)	<p>(方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 蓮田高校と菖蒲高校を統合し、新たな全日制単位制高校を現在の蓮田高校に設置する。</li> </ul> <p>(時期)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開校時期は、平成22年度とする。</li> </ul> <p>(生徒募集)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新たな高校は、平成22年度の入学者から生徒募集を行う。</li> <li>○ 蓮田高校は、平成22年度から生徒募集を停止する。</li> <li>○ 菖蒲高校は、平成20年度から生徒募集を停止する。</li> </ul> <p>(課程・学科)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全日制課程(普通科)とする。</li> </ul> <p>(新たな高校の教育方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域社会との信頼関係を築きながら、地域に貢献する心を持った生徒を育てる。</li> <li>○ 生徒一人一人の進路実現に必要な基礎学力の徹底を図る。</li> <li>○ 学校生活全般を通じて生徒指導をしっかり行い、基本的な生活態度と規範意識の徹底を図る。</li> <li>○ 様々な体験活動を通じて生徒の社会性の向上を図り、生徒の能力や適性に応じた進路を実現する。</li> <li>○ 学校行事などの特別活動や部活動を活性化し、学校生活を充実させる。</li> </ul>

## 2 栗橋高校と北川辺高校の統合

対象校	再編整備の方針等
栗橋高校 北川辺高校 (仮称:栗橋新校)	<p><b>(方針)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 栗橋高校と北川辺高校を統合し、新たな全日制単位制高校を現在の栗橋高校に設置する。</li> </ul> <p><b>(時期)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開校時期は、平成22年度とする。</li> </ul> <p><b>(生徒募集)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新たな高校は、平成22年度の入学者から生徒募集を行う。</li> <li>○ 栗橋高校は、平成22年度から生徒募集を停止する。</li> <li>○ 北川辺高校は、平成20年度から生徒募集を停止する。</li> </ul> <p><b>(課程・学科)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全日制課程(普通科)とする。</li> </ul> <p><b>(新たな高校の教育方針)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域社会とのつながりを大切にし、将来の地域社会を支える人材を育てる。</li> <li>○ 生徒の学力に応じたきめ細かな学習指導をする。</li> <li>○ 学校生活や地域活動の中で生徒指導の徹底を図り、社会の一員としての自覚を育む。</li> <li>○ 地域における様々な活動を通じて、生徒の目的意識を高める進路指導を行う。</li> <li>○ 地域との連携に基づく教育活動を積極的に推進し、学校の活性化を図る。</li> </ul>

### 3 吹上高校、鴻巣高校(定時制)、熊谷女子高校(定時制)及び深谷商業高校(定時制)の統合

対象校	再編整備の方針等
吹上高校 鴻巣高校(定) 熊谷女子高校(定) 深谷商業高校(定)  (仮称:吹上新校)	<p><b>(方針)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 吹上高校、鴻巣高校の定時制課程、熊谷女子高校の定時制課程及び深谷商業高校の定時制課程を統合し、新たな昼夜開講の定時制単位制高校(パレットスクール)を現在の吹上高校に設置する。</li> </ul> <p><b>(時期)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開校時期は、平成22年度とする。</li> </ul> <p><b>(生徒募集)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新たな高校は、平成22年度の入学者から生徒募集を行う。</li> <li>○ 吹上高校は、平成20年度から生徒募集を停止する。</li> <li>○ 3校の定時制課程は、平成22年度から生徒募集を停止する。</li> </ul> <p><b>(課程・学科)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 昼夜2部制の定時制課程(総合学科)とする。</li> </ul> <p><b>(新たな高校の教育方針)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 様々な生徒のニーズに対応するとともに、充実感や達成感をとおして自信と自覚を持った生徒を育てる。</li> <li>○ 基礎・基本を重視し、個に応じた柔軟な学習システムを導入する。</li> <li>○ 中途退学者や不登校経験者など、多様な生徒の学校生活を支援する体制を充実する。</li> <li>○ 生徒一人一人の能力や個性に応じた進路指導を推進する。</li> <li>○ 3年間で卒業が可能な通信制併修システムを構築する。</li> </ul>

## (参考資料)

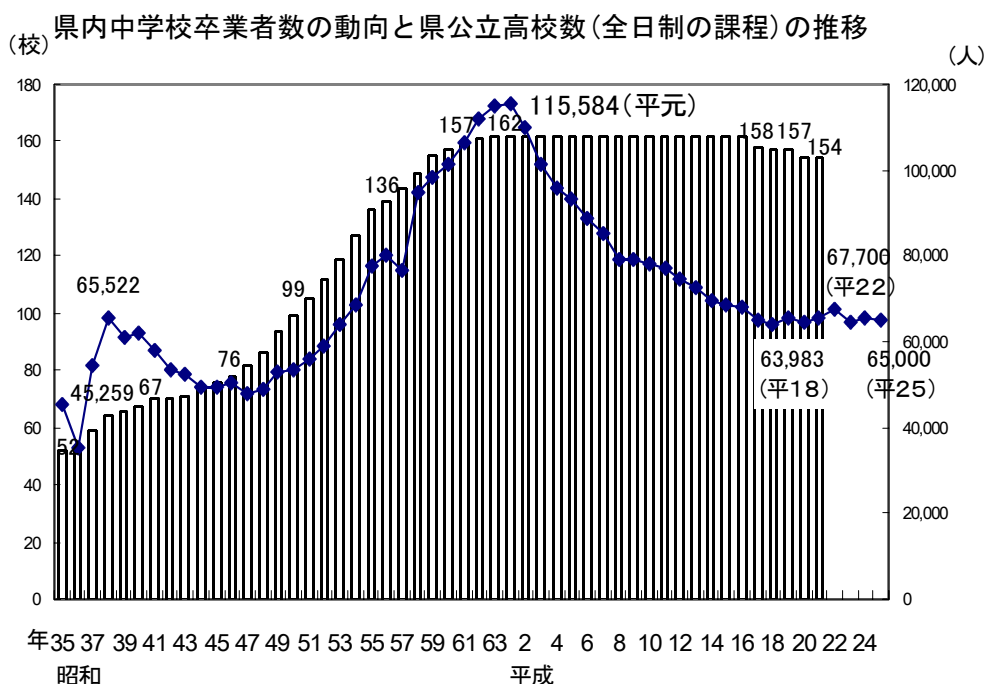
### 県内中学校卒業生数の動向と適正な学校規模

#### 1 県内中学校卒業生数の動向

県内中学校卒業生数は、平成元年にピークを迎え115,584人であったが、その後、生徒数は急減し、平成18年3月には63,983人となり、平成元年3月と比べ、約55%の卒業生数となっている。

平成18年1月の「義務教育人口推計結果報告書（平成18～23年度）」などに基づき、平成19年度以降の中学校卒業生数についても予測をすると、小さな幅での増加・減少を繰り返しながら推移し、平成25年3月には、約65,000人になると推計される。

今後の生徒数の動向については、首都圏に位置する本県の地理的条件などを考慮し、慎重に見守る必要がある。



※ 平成18年3月卒業生までは実績値、それ以降は「義務教育人口推計結果報告書」等に基づく予測。  
※ 学校数は、県立と市立を併せたもの(例)平成16年度(全日制) 県立153校+市立9校→162校)

#### 2 適正な学校規模

生徒数の減少に伴い、学校の小規模化が進むと、多様な教育課程の編成が困難になったり、学校行事などの特別活動や部活動の活力が低下するなど、学校運営上の課題が生ずることから、各学校が一層活力ある教育活動を進めるために、一定の生徒数を確保する必要がある。

適正な学校規模については、各学校が学習指導要領に基づく教育課程の編成・実施や施設状況に応じた適切な教室数の確保ができるよう、また、各学校が活力ある教育活動を進めることができるよう、配慮する。

学年当たりの適正な規模については、

・ 普通科(専門学科併置校を含む)	320人～240人(8学級～6学級)
・ 専門学科	240人(6学級)
・ 総合学科	320人～240人(8学級～6学級)

を標準とする。